

2023年8月31日  
株式会社三菱UFJ銀行

## 株式会社ダイキアクシスと「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする「ポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下、「本商品」）」を提供しております。

本商品は、「持続可能な開発の3つの側面（経済、環境、社会）のいずれかにおいて潜在的なマイナスの影響が適切に特定され緩和され、なおかつ少なくともそれらの一つの面でプラスの貢献をもたらす」ことを企図するファイナンスであり、お客さまの事業活動が環境、社会、経済にもたらすインパクトを包括的に評価・モニタリングし、お客さまの ESG 経営を金融面から支援するものです。

本商品のインパクト評価は、当行が三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）と共同で策定した「ポジティブ・インパクト・ファイナンス フレームワーク」（以下、「フレームワーク」）に基づいております。フレームワークには評価にあたっての基準や体制等が規定されており、株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）より、国連環境計画金融イニシアティブによる「ポジティブ・インパクト金融原則」に適合している旨の第三者評価を取得しております。

この度、当行は、株式会社ダイキアクシス（代表取締役社長 おおがめ ひろし 大亀 裕、以下「ダイキアクシス」）に対し「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結いたしました。当社の事業活動に関連する重要なインパクト領域における評価結果は次の通りです。なお、本評価は、当行と MURC が共同で実施し、フレームワークに基づいた評価である旨を JCR より確認しております。

### 【本契約の概要】

契約締結日	2023年8月31日
アレンジャー	伊予銀行、三菱UFJ銀行
エージェント	伊予銀行
組成金額	80億円
資金使途	事業資金
参加金融機関	国内金融機関8社（アレンジャー含む）

### 《本件の概要》

ダイキアクシスグループは「環境を守る。未来を変える。」を企業使命とし、「世界の環境課題を技術とアイデアで解決し、世界の人々の生活を支える」というパーパスを掲げています。あらゆる環境を守ることで人と自然にとってより良い未来を創造する企業として、ESGを意識した経営を推進し、「事業活動」と「企業活動」の両面を通じた持続可能な環境と社会作りへの貢献を企図しています。

本契約の締結にあたり、SDGs（持続可能な開発目標）の目標達成に対してインパクトを与える活動として、当社の事業及び重要課題から以下のテーマを選定しております。

【ポジティブ・インパクトの創出に関する評価】

インパクト領域	活動内容とインパクトの状況
<環境> 廃棄物 水（質） 資源効率・安全性 <社会> 保健・衛生 水（利用可能性）	国内外における家庭用/産業用の排水処理設備の設計販売により、家庭/産業排水の適正な水質管理・工場での水の循環利用化に伴う水使用量削減・排水処理汚泥の削減に貢献 ─ 環境機器関連事業売上高 204 億円（2022 年 12 月期） ─ メンテナンス事業売上高 52 億円（2022 年 12 月期） ─ 海外事業売上高 22 億円（2022 年 12 月期） ・ 及びウォーターサーバー事業、地下水飲料化事業により、安全な飲料水へのアクセスの提供 ─ エスコ（地下水飲料化システム）売上高 6 億円（2022 年 12 月期）
<環境> 資源効率・安全性	水まわりを中心とした住宅向け設備機器及び、内外装材、エクステリア、空調、太陽光発電システム等の販売による、快適な住環境の提供 ─ 住宅機器関連事業 売上高 164 億円（2022 年 12 月期）
<環境> 気候 廃棄物 資源効率・安全性 <社会> エネルギー	使用済み天ぷら油のリサイクル燃料の開発・製造及び精製プラントの製造・販売により、廃棄物削減・化石燃料代替に伴う CO2 排出量削減に貢献 ─ バイオディーゼル燃料事業売上高 2 億円（2022 年 12 月期） ─ 廃食用油回収量 710,162L（2022 年 12 月期） ─ D・Oil 販売量 231,500L（2022 年 12 月期） ─ B5 軽油販売量 1,430,362L（2022 年 12 月期） ─ CO2 削減量 787t-CO2（2022 年 12 月期）
<環境> 気候 大気 <社会> エネルギー <経済> 経済収束	太陽光発電における売電事業により CO2 排出量削減、及び緊急時の電源確保など BCP 対策への貢献 ─ 太陽光発電に係る売電事業売上高 15 億円（2022 年 12 月期） ─ 年間発電量 46,737kWh（2022 年 12 月期） ─ CO2 削減量 20,330t-CO2（2022 年 12 月期）
<環境> 気候 大気 <社会> エネルギー <経済> 経済収束	小形風力発電における売電事業により、CO2 排出量削減への貢献、従来の大型プロペラタイプの風力発電機で問題となっていたバードストライクや設置工事による自然破壊の抑制による生物多様性の保護への貢献、及び緊急時の電源確保など BCP 対策への貢献 ─ 小形風力発電事業売上高 0.6 億円（2022 年 12 月期）
<社会> 雇用 <経済> 包摂的で健全な経済	「女性活躍推進」「育児支援」等の施策により、従業員のワークライフバランスの実現 ─ くるみん認定の取得 ─ 育児休暇中の面談実施
<社会> 雇用	海外事業拡大に伴う、現地法人設立国での雇用創出 ─ 2022 年における現地法人の従業員数：225 名（役員除く。パート含む） ─ 2022 年における代理店の契約数：33 社

【ネガティブ・インパクトの緩和・管理に関する評価】

インパクト領域	インパクトの状況と、緩和・管理の状況
<p>＜環境＞ 気候</p>	<p><b>【インパクトの状況】</b> 自社工場での電力使用に伴う CO2 排出 └ 工場電力使用量 約 600MWh/年 └ 年間 CO2 排出量（電力由来）約 300t-CO2/年</p> <p><b>【緩和・管理の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LED 照明への転換</li> <li>・製造効率化によるエネルギー使用量削減</li> <li>・サステナビリティ委員会にてさらなる CO2 排出削減策を検討中</li> </ul>
<p>＜環境＞ 大気 ＜社会＞ 雇用 保健・衛生</p>	<p><b>【インパクトの状況】</b>・輸送時のトラックからの排ガス排出 ・浄化槽製造工場において FRP を削る際に発生する粉塵について従業員への悪影響発生（大気汚染防止法に定められる粉塵には該当せず、周辺地域への悪影響はなし）</p> <p><b>【緩和・管理の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸送用トラックの排ガス規制遵守</li> <li>・有機溶剤作業主任者を選任し、危険物を取り扱う作業は危険物取扱者乙 4 類と乙 5 類に限定（危険物倉庫表示）</li> <li>・健康診断の実施（特殊健康診断（半年に 1 回）、有機溶剤健康診断（半年に 1 回）、じん肺健康診断 3 年に 1 回※報告は毎年）</li> <li>・作業環境測定の実施（有機溶剤、粉塵）（2 回/年）</li> <li>・消火器、換気装置、危険物貯蔵所の設置</li> <li>・保護具の装着</li> </ul>
<p>＜環境＞ 廃棄物 資源効率・安全性</p>	<p><b>【インパクトの状況】</b> ・産業廃棄物（工場の機械類含む）及び包装資材（主に段ボール）は、法令に基づき適切にリサイクル/処分を実施</p> <p>・浄化槽本体の主原料となる FRP について、製造過程で発生した端材を全て埋立にて処分 └ FRP 廃棄物発生量 64t/年</p> <p><b>【緩和・管理の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FRP の再生利用の技術的検討</li> <li>・再生可能な素材への代替検討</li> </ul>
<p>＜環境＞ 水（質） 土壌 ＜社会＞ 水（利用可能性） 保健・衛生</p>	<p><b>【インパクトの状況】</b> 重大なインシデントなし</p> <p><b>【緩和・管理の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計からメンテナンスまでの一貫通貫のサービスを提供</li> <li>・メンテナンス事業で得た維持管理に関する知見を設計に反映</li> </ul>
<p>＜環境＞ 生物多様性と生態系サービス</p>	<p><b>【インパクトの状況】</b> 重大な影響なし</p> <p><b>【緩和・管理の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林伐採を伴わない屋根置き太陽光発電の推進</li> <li>・大型風力発電所と比較してバードストライク防止効果が高い小型風力発電の建設推進（18 サイト程度建設済）</li> <li>・建設時の環境アセスメントの適切な実施</li> </ul>

<p>&lt;社会&gt; 雇用 保健・衛生</p>	<p><b>【インパクトの状況】</b> 労働災害の発生 └ 過去3年で休業4日以上労働災害発生件数5件（うち下請け業者3件）</p> <p><b>【緩和・管理の状況】</b> ・原因究明、再発防止への取り組みの徹底 ・毎月の衛生委員会での労災情報共有 ・年に一度下請業者と共同で安全大会を実施</p>
<p>&lt;社会&gt; 強固な制度、平和、安定</p>	<p><b>【インパクトの状況】</b> 浄化槽2機種において品質トラブル発生</p> <p><b>【緩和・管理の状況】</b> ・他社による認定取得製品に対する社内チェックの厳格化を再発防止策として徹底</p>

**【目標 (KPI)】**

内容	目標とモニタリング項目 (KPI 等)
<p>排水処理設備の設計販売事業、メンテナンス事業の拡大</p>	<p><b>【目標】</b> ・2022年から2025年までの国内総排水処理量 計 45,000 m<sup>3</sup>/日 ・2022年から2025年までの法適用外の国内産業排水処理物件数 計 60件 ・2025年 メンテナンスの売上 46億円</p> <p><b>【モニタリング項目 (KPI 等)】</b> ・国内総排水処理量 ・法適用外の国内産業排水処理物件数 ・メンテナンスの売上</p>
<p>ウォーターサーバー事業等の上水関連事業の拡大</p>	<p><b>【目標】</b> ・2025年 上水事業売上 12億円</p> <p><b>【モニタリング項目 (KPI 等)】</b> ・上水事業売上</p>
<p>海外向け浄化槽の販売拡大</p>	<p><b>【目標】</b> ・2025年 環境機器関連事業（海外）売上高 40億円 ・2025年 各海外拠点の浄化槽出荷台数 インド 1260台/年 スリランカ 1000台/年 インドネシア 160台/年</p> <p><b>【モニタリング項目 (KPI 等)】</b> ・環境機器関連事業（海外）売上高 ・各海外拠点の浄化槽出荷台数</p>
<p>環境配慮型商材の売上拡大</p>	<p><b>【目標】</b> 2025年 環境配慮型商材※売上 6.0億円</p> <p><b>【モニタリング項目 (KPI 等)】</b> 環境配慮型商材※売上</p>

	※国産材を用いた木造建築資材、木製の地盤改良杭や水槽、除湿型放射冷暖房製品
D・OiL/B5 軽油の販売拡大	<b>【目標】</b> ・2025 年 D・OiL 販売量：394,000L/年 ・2025 年 B5 軽油販売量：4,360,000L/年 <b>【モニタリング項目（KPI 等）】</b> ・D・OiL 販売量 ・B5 軽油販売量
太陽光発電所の新設・規模拡大	<b>【目標】</b> 2025 年 自社太陽光発電事業による発電設備容量 50 MW <b>【モニタリング項目（KPI 等）】</b> 自社太陽光発電事業による発電設備容量
小形風力発電所の新設・規模拡大	<b>【目標】</b> 2025 年 小形風力発電総発電量 580 MWh/年 <b>【モニタリング項目（KPI 等）】</b> 小形風力発電総発電量
育児支援・女性活躍推進施策の拡大	<b>【目標】</b> ・2025 年 期：女性管理職比率 5.0% ・2025 年 期：男性育児休職取得率 30% <b>【モニタリング項目（KPI 等）】</b> ・女性管理職比率 ・男性育児休職取得率
CO2 発生量低減	<b>【目標】</b> 2025 年度までに定量目標を設定 <b>【モニタリング項目（KPI 等）】</b> なし
FRP 端材の発生量低減・FRP の別素材への代替検討	<b>【目標】</b> 2025 年度までに定量目標を設定 <b>【モニタリング項目（KPI 等）】</b> なし

当行は、特定されたインパクトの創出状況やネガティブ・インパクトの緩和・管理の状況、目標、モニタリング項目（KPI 等）の状況について、ファイナンス期間にわたり年 1 回モニタリングを実施してまいります。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上